



# JICAの開発教育支援事業の現状と 本シンポジウムへの期待

独立行政法人国際協力機構(JICA)  
地球ひろば 所長 芳賀克彦

独立行政法人 国際協力機構



## 本基調講演の内容

1. 共同プロジェクト実施の背景：
  - (1) JICAと開発教育支援事業  
及び 国際理解教育との関係
  - (2) グローバル人材の議論と本プロジェクト
2. JICAの開発教育支援事業とその課題
3. 本プロジェクトの進捗とシンポジウムへの期待



# 1. 本プロジェクト実施の背景

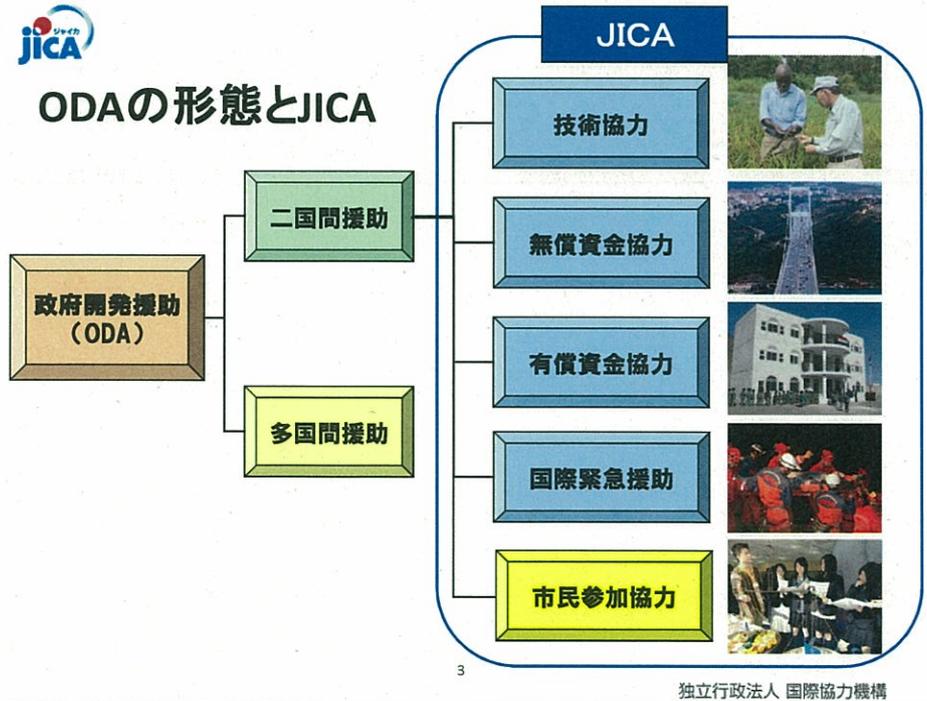
## (1) JICAと開発教育支援事業 及び 国際理解教育との関係

2

独立行政法人 国際協力機構



### ODAの形態とJICA



3

独立行政法人 国際協力機構



## JICAの市民参加協力事業

### ボランティア事業

青年海外協力隊、シニア海外ボランティア等

### 草の根技術協力事業

日本のNGO、大学、地方自治体及び公益法人の団体等の途上国への協力活動をJICAが支援

### NGO等支援事業

国際協力を行う日本のNGO・市民団体に対し、事業や組織のマネジメント等に関する研修・支援を実施

### 開発教育支援事業

JICAの持つ情報・経験をもとに、以下の3点に重点を置き、開発教育に関連する活動を側面から支援する。

- ・ 開発途上国の実情や日本との関係に関する「知見の還元」
- ・ 市民が自主的に何が出来るかを「考える機会の提供」
- ・ 地域での開発教育推進のための「橋渡し役」

4

独立行政法人 国際協力機構



## ODA大綱(2003年閣議決定)

### Ⅲ. 援助政策の立案及び実施

#### 2. 国民参加の拡大

##### (3) 開発教育

開発教育は、ODAを含む国際協力への理解を促進するとともに、将来の国際協力の担い手を確保するためにも重要である。このような観点から、学校教育などの場を通じて、開発途上国が抱える問題、開発途上国と我が国の関わり、開発援助が果たすべき役割など、開発問題に関する教育の普及を図り、その際に必要とされる教材の提供や指導者の育成などを行う。

5

独立行政法人 国際協力機構



## 開発教育

### 「開発教育」について

- 21世紀に向けてのODA改革懇談会 報告書(1998年)  
 貧困・飢餓、環境破壊など国際社会・地域社会の現状を知り、  
 開発・環境・人権・平和をはじめさまざまな問題についての理解を深め、  
 国際協力・開発援助の重要性についての認識を深めるための教育。  
 また、開発途上国と先進国との関係を含め国際社会の問題の解決に向け、  
 なんらかの形で参加する態度や能力を養うことを目的とした教育。
- 「開発教育協会」による説明  
 私たちひとりひとりが、開発をめぐるさまざまな問題を理解し、  
 望ましい開発のあり方を考え、  
 共に生きることのできる公正な地球社会づくりに参加することをねらいとした  
 教育活動

6

独立行政法人 国際協力機構



## 国際理解教育・国際教育

### 「国際理解教育」について

- ユネスコ『国際理解、国際協力及び国際平和のための教育並び  
 に人権及び基本的自由についての教育に関する勧告』1974年
- 『21世紀を展望した我が国の教育の在り方について』  
 (中央教育審議会 審議のまとめ)1996年  
 「国際化と教育」の柱の一つに「国際理解教育の推進」

### 「国際教育」について

- 初等中等教育における国際教育推進検討会報告(2005年8月)  
 国際教育とは「国際社会において、地球的視野に立って、主体的に行動する  
 ために必要と考えられる態度・能力の基礎を育成する」ための教育

7

独立行政法人 国際協力機構



# 1. 本プロジェクト実施の背景

## (2) グローバル人材の議論と 本共同プロジェクト



### 我が国におけるグローバル人材に関する議論

#### 文部科学省中央教育審議会 「学士課程教育の構築に向けて」(答申)

学士課程で育成する21世紀型市民の内容  
「各専攻分野を通じて培う学士力」(参考指針)

##### 知識・理解

- ・多文化・異文化に関する知識の理解
- ・人類の文化、社会と自然に関する知識

##### 汎用的技能

- ・コミュニケーション・スキル 数量的スキル
- ・情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力

##### 態度・志向性

- ・自己管理能力 teamwork、リーダーシップ
- ・倫理観 市民としての社会的責任
- ・生涯学習力

##### 統合的な学習経験と創造的思考力

- ・これまでに獲得した知識・技能、態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力

2008年12月14日 中央教育審議会

#### 経済産業省 「社会人基礎力」

多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力

##### 前に踏み出す力

- ・主体性
- ・働きかけ力
- ・実行力

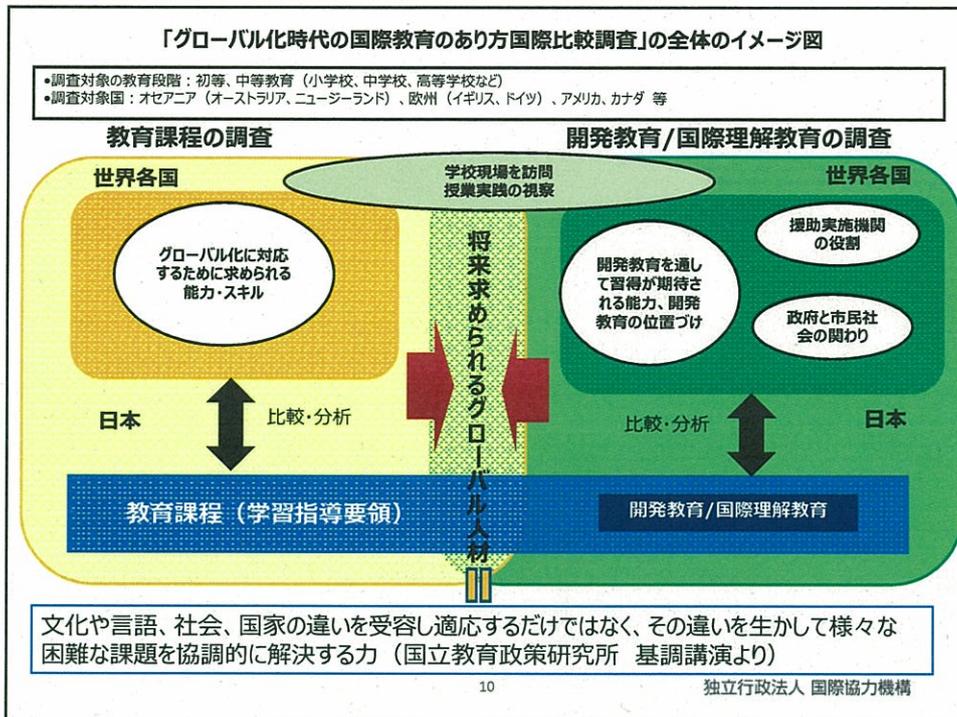
##### 考え抜く力

- ・課題発見力
- ・計画力
- ・創造力

##### チームで働く力

- ・発信力 傾聴力
- ・柔軟性 状況把握力 規律性
- ・ストレスコントロール力

「社会人基礎力に関する研究会—中間とりまとめ—」  
経済産業省(2006年1月)



## 2. JICAの開発教育支援事業と その課題

11 独立行政法人 国際協力機構



## JICA開発教育支援事業(教員対象)

### 教員向け研修

教育委員会等の要望により  
教員研修等へ講師を派遣。

### 開発教育指導者研修

JICAがNGO等の協力も得て  
教員を含む開発教育指導者  
向けの研修を実施。(2012年



13,644名)

### 教師海外研修

約170名の教員が20コースに  
分かれて途上国で研修。

研修成果を活用し、各学校で  
授業実践を行い、児童・生徒へ  
途上国の現状等を伝える。

### 教材作成・配布

教員向け教材、児童・生徒向け  
教材の作成、配布



独立行政法人 国際協力機構



## JICA開発教育支援事業(児童・生徒対象)

### 国際協力出前講座

JICAボランティア経験者を学校に派遣し、  
国際協力現場の体験談や  
開発途上国の現状を紹介。  
毎年全国で約2,000件、  
20万人以上が受講。



### JICA施設団体訪問

JICA国内機関を、社会見学、修学旅行、総  
合学習として訪問し、世界や途上国のこと、  
国際協力についての理解や興味を深める。

### 実体験プログラム

JICAはじめ日本の組織・個人の国際協力現場での経験・  
知見を素材として、高校生が合宿形式で疑似体験し、その  
考察を互いに発表し、議論を深めるプログラム。  
これらを通じて、国際社会で求められる態度・能力の育成、  
リーダー的資質の伸長を目指す。

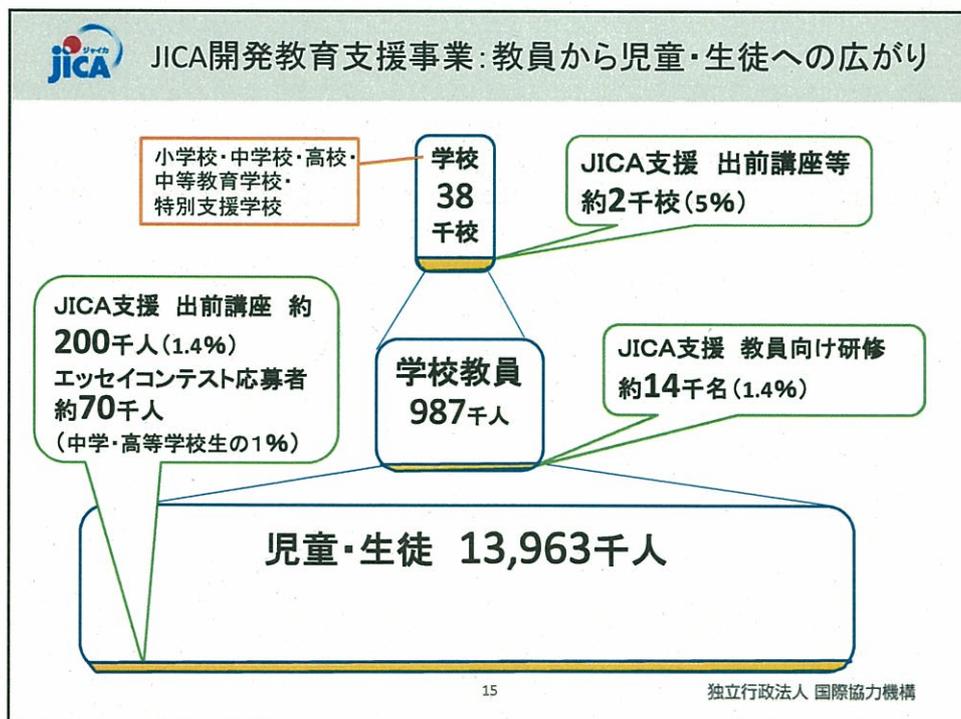
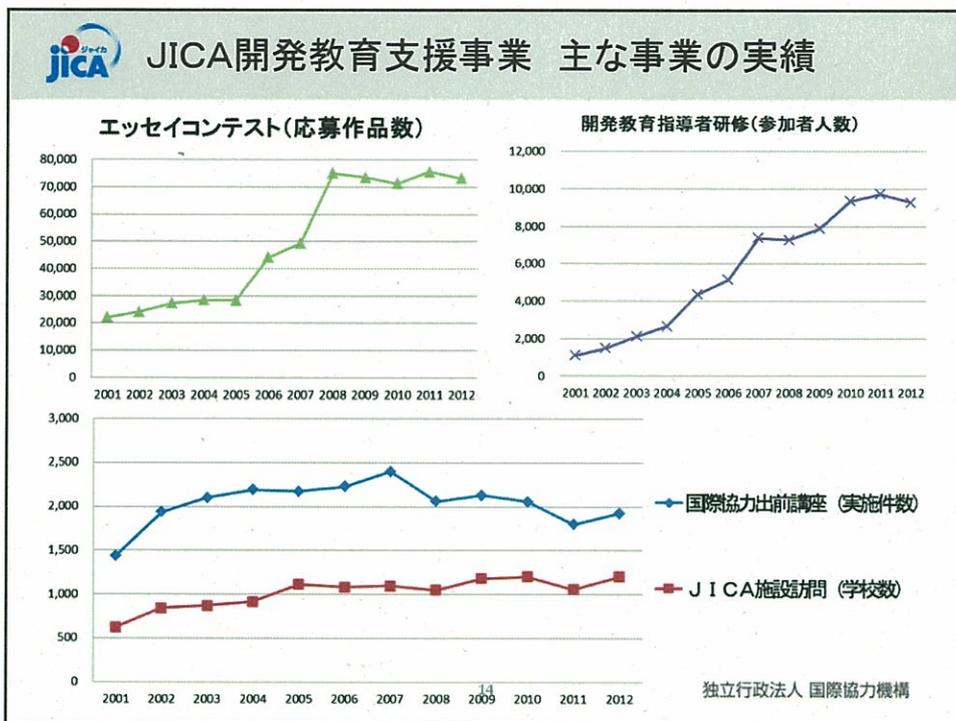
### 国際協力中学生・高校生エッセイ コンテスト

次世代を担う中高校生を対象に、  
開発途上国の現状や国際協力の必要性  
につき理解を深め、国際社会の中で日本  
は何をすべきか、自分たちがどう行動すべ  
きかを考えてもらうことを目的として実施。  
2012年度は、7万点を超える  
応募を得た。



上位入賞者による海外研修旅行の様子

独立行政法人 国際協力機構





## JICAの開発教育支援事業とその課題

### 課題

- 国や自治体の教育行政との連携
- 教育行政の枠組み等への配慮・対応
- 学校現場(教員)のニーズへの的確な対応  
例:学習指導要領との関係の明確化

### 事業の主な対象者

児童・生徒(出前授業等)／教員(研修等)の双方  
⇒より教員に重点を置いた事業・支援へ



## 3. 本プロジェクトの進捗と シンポジウムへの期待



## 本シンポジウムへの期待(1)

### 教育現場での グローバル教育・開発教育の推進と 援助機関(JICA)の役割

18

独立行政法人 国際協力機構



### 各国に共通して見られた事例

- グローバル教育は、特定の科目としては位置づけられていない国が多いが、カリキュラムへの配慮がある
- ウェブサイトを通じた豊富な教材やリソースの提供
- 教員向け研修の充実、教員志望学生に向けた研修等

19

独立行政法人 国際協力機構



## シンポジウムへの期待(1)

教育現場での  
グローバル教育・開発教育の推進と  
援助機関(JICA)の役割

—各国の効果的な事例、取り組み等を参考に—

- ①教育現場(学校)における  
国際教育の実施とカリキュラムの関係
- ②グローバル教育の推進に効果的な支援  
(学校・教員向け)

20

独立行政法人 国際協力機構



## プロジェクトの進捗とシンポジウムへの期待

### 本シンポジウムへの期待(2)

開発教育やグローバル教育と  
「グローバル化した現代で求められる力」  
「グローバル人材」等の関係

21

独立行政法人 国際協力機構

**我が国におけるグローバル人材に関する議論**

**文部科学省中央教育審議会  
「学士課程教育の構築に向けて」(答申)**

学士課程で育成する21世紀型市民の内容  
「各専攻分野を通じて培う学士力」(参考指針)

**知識・理解**

- ・多文化・異文化に関する知識の理解
- ・人類の文化、社会と自然に関する知識

**汎用的技能**

- ・**コミュニケーション・スキル** 数量的スキル
- ・情報リテラシー・論理的思考力・**問題解決力**

**態度・志向性**

- ・自己管理能力・チームワーク、リーダーシップ
- ・倫理観・市民としての社会的責任
- ・生涯学習力

**統合的な学習経験と創造的思考力**

- ・これまでに獲得した知識・技能、態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力

2008年12月14日 中央教育審議会

**国際教育において  
習得が期待される能力**

- ・**コミュニケーション力** (イギリス、オーストラリア、カナダ)
- ・**思考力(考える力)** (カナダ)
  - ・分析・評価・想像する思考スキル (イギリス)
  - ・テーマを深く考える批判的思考 (オーストラリア)
- ・**行動力** (カナダ、イギリス)
  - ・前向きな価値観と態度、重要なスキル、積極的な参加姿勢(オーストラリア)

22 独立行政法人 国際協力機構

**21世紀型能力**

**実践力**

- ・自律的活動力
- ・人間関係形成力
- ・社会参画力・持続可能な未来への責任

**思考力・問題解決・発見力・創造力**

- ・論理的・批判的思考力
- ・メタ認知・適応的学習力

**基礎力**

- ・言語スキル
- ・数量スキル
- ・情報スキル

**開発教育(グローバル教育)が扱う内容(例)**

- ・ 諸外国との相互依存関係の理解
- ・ グローバル化に伴う複雑な課題の理解
- ・ 課題に対する主体的な考え・意見等

国立教育政策研究所基調講演資料より

23 Japan International Cooperation Agency



## シンポジウムへの期待(2)

開発教育やグローバル教育と  
「グローバル化した現代で求められる力」の関係

- 国際教育・グローバル教育が目指すものは、21世紀型能力に近いのかどうか。
- 21世紀型能力の育成に、国際教育は貢献、もしくは何らかの役割を果たし得るのか。

24

独立行政法人 国際協力機構



ご清聴ありがとうございました。

独立行政法人 国際協力機構